

# 短期留学生報告（2008年10月～2009年9月）

加藤扶久美

## 1 はじめに

富山大学留学生センターでは、学術交流協定校からの短期留学生が学部および大学院で学習・研究が円滑に進められるように、「富山大学短期留学生受入れ体制要項」に基づき、日本語教育および見学旅行「スタディ・トリップ」の立案・実施をしている。

表1に所属別短期留学生数を示した。2008年度後期（2008年10月～2009年3月）と2009年度前期（2009年4月～9月）に、それぞれ14人在籍した。短期留学生の多くは、留学期間が10月から翌年の9月までの1年間であるが、「医薬」と「芸術」では、半年間だけ在籍した。

表1 所属別短期留学生数

	五福地区				杉谷地区	高岡地区	合計
	人文	人間	経済	理工	医薬	芸術	
2008年度後期	8	2	2	1	1	0	14
2009年度前期	7	2	2	1	0	2	14

・人文は人文学部と人文科学研究科，人間は人間発達科学部，経済は経済学部と経済学研究科，理工は理工学教育部，医薬は医学薬学教育部，芸術は芸術文化学部を示す。

本稿では、表1に示した短期留学生について、2008年度後期と2009年度前期の日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況とスタディ・トリップの実施状況について報告する。

## 2 日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況について

### 2.1 総合日本語コース

上級レベルの短期留学生は、総合日本語コースを受講できる。受講者は、2008年度後期が9人、2009年度前期が6人である。

表2に所属別「総合日本語コース」受講者数を示した。「総合日本語コース」の受講者は文系の人文学部、人文科学研究科、人間発達科学部、経済学部 に在籍している。

表2 所属別「総合日本語コース」受講者数

	人文	人間	経済	合計
2008年度後期	6	2	1	9
2009年度前期	4	1	1	6

・人文は人文学部と人文科学研究科，人間は人間発達科学部，経済は経済学部と経済学研究科を示す。

表3に出身大学別「総合日本語コース」受講者数を示した。受講者が比較的多いのは、韓国の国民大学校と中国の山東大学である。

表3 出身大学別「総合日本語コース」受講者数

	韓国		中国			ロシア	合計
	国民大学校	江原大学校	山東大学	遼寧大学	大連理工大学	ノボシビルスク大学	
2008年度後期	3	1	2	1	1	1	9
2009年度前期	1	1	2	1	1	0	6

表4に、授業科目別「総合日本語コース」受講者数を示した。

表4 授業科目別「総合日本語コース」受講者数

	読解 I	読解 II	作文	聴解	会話	漢字	日本文化	文法	表現技術	合計	平均受講コマ数
2008年度後期 (受講者：9人)	0	4	3	1	3	2	4	3	3	23	2.6
2009年度前期 (受講者：6人)	0	2	3	1	0	0	3	4	1	14	2.3

平均受講コマ数は、2008年度後期が2.6コマで、2009年度前期が2.3コマである。2008年度後期と比べて2009年度前期は、1人当たり平均受講コマ数が0.3少ないが、これは専門の授業等と重なったことによると考えられる。

## 2.2 日本語課外補講

初級・中級レベルの短期留学生は日本語課外補講を受講できる。受講者は、2008年度後期が2人、2009年度前期が4人である。

表5に所属別「日本語課外補講」受講者数を示した。2008年度後期は、工学部1人と経済学研究科1人の計2人が、初級クラスを受講した。2009年度前期は、2008年度後期に初級クラスを受講した2人と芸術文化学部の1人が中級クラスを、芸術文化学部の1人が初級クラスを受講した。

2008年度後期の高岡キャンパス芸術文化学部の受講者は、高岡キャンパスと五福キャンパス間のシャトルバスを利用して、五福キャンパスで開講されている日本語課外補講を受講した。

表5 所属別「日本語課外補講」受講者数

	経済学研究科	工学部	芸術文化学部	合計
2008年度後期	1	1	0	2
2009年度前期	1	1	2	4

## 2.3 成績評価

上級レベルの短期留学生については、受講した総合日本語コースの科目の成績評価がなされる（「総合日本語コース報告」参照）。学生への成績通知は、日本語教育部門短期留学生担当の加藤扶久美が「学業成績通知書」を作成し、学期末に個別に渡している。人文学部については、学部長名で、「富山大学人文学部短期（1年）留学生プログラム（受け入れ）」に基づく「履修証明書」が発行されている。

初級・中級レベルの短期留学生については、依頼に応じて、受講した日本語課外補講の「受講証明書」が発行される。

### 3 スタディ・トリップの実施状況

#### 3.1 フィールド・トリップとの合同見学

日本語研修コースのフィールド・トリップとの合同見学として、2008年11月21日（金）の午後に富山市民俗民芸村・五百羅漢へ、2009年6月12日（金）の午後に株式会社生産技術（第八ロボット展示場）へ出かけた。短期留学生の参加者は2008年度後期が6人、2009年度前期が3人で、留学生指導部門の出原節子がコーディネートし、引率者は、2008年度後期が出原節子と後藤寛樹、2009年度前期が出原節子、後藤寛樹および副島健治であった。

#### 3.2 スタディ・トリップ

2009年3月3日（火）午後に、スクールバスで広貫堂資料館、梅かまミュージアム、岩瀬カナル会館、富山港展望台の見学に出かけた。参加者は19人で、短期留学生が5人、その他の留学生が12人、外国人研究者が2人で、短期留学生担当の加藤扶久美が企画し、加藤扶久美と副島健治に学務部学生支援グループ留学支援チームから1人加わって引率した。

### 4 おわりに

学術交流協定に基づく短期留学生に対する留学生センターの支援は、日本語教育とスタディ・トリップである。日本語教育については、日本語課外補講を受講する初級・中級レベルの学生および総合日本語コースを受講する上級レベルの学生に対して、今後も学部との連携をとりながら支援体制をさらに充実させていきたい。

また、スタディ・トリップについては、短期留学生以外の留学生や研究者にも参加を呼びかけて実施し好評であったので、今後も積極的に進めていきたい。